

外国語（教科型） 学習指導案

海田町立海田小学校

- 1 日 時 平成30年7月10日（火） 第5校時
- 2 学 年 第6学年1組 男子20名 女子15名 計35名
- 3 単元名 Dream 6-3 He is famous. She is great. 日本や世界で活躍する日本人
<We Can! 2 Unit 3 He is famous. She is great. (人物紹介, 動作, 様子, 職業) >

4 単元について

- 本単元は、これまでの外国語活動で慣れ親しんできた語句や表現を使って、英語の文構造に気付かせ、それらを用いて自分や第三者を紹介する文を言ったり書いたりすることを目指している。この単元での新出表現はなく、これまでに音声で十分に慣れ親しんだ文を取り上げ、どのような語順になっているのかに気付き、それを意識して表現するように、単元を構成している。

単元末の活動として、グローバルキャンプに来る外国人に向けて『自分の紹介したい「すごい日本人!」を「なりきりインタビュー」で紹介する』というゴールを設定し、相手・目的意識をもって学習を進めるようにしている。第三者を紹介する際に必要な表現として児童が活用できる既習表現はbe動詞(He/She is)とcanのみで、一般動詞は活用できないため、既習の一般動詞を使えるように、「なりきり」という手法をとり、1人称・2人称を用いて紹介する。また聞き手を意識しながらやり取りを行うという「インタビュー」形式で進めることで、協働的な学びを通して自分たちの言いたいことを自分たちの力で表現し、自分たちの気持ちや考えをより深く交流できる単元構成としている。

- 本学年の児童は、第1, 2学年時に年間7時間、第3, 4学年時に年間13時間、第5学年ではモジュール授業も活用した年間70時間の外国語活動を学んできている(1~4年は裁量時間)。また、第3学年からは毎日各学級で「ひとくち英語」に取り組み、外国語に触れている。

本学級の児童は、6月に行った外国語活動(英語)についてのアンケート調査によると、次のような実態があることが分かった。

番号	項目	肯定的回答の割合 (人数)
①	外国語活動(英語)の授業に進んで参加しています。	95%(35人中33人)
②	外国語活動(英語)の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	66%(35人中23人)
③	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、だいたいの内容が分かります。	86%(35人中30人)
④	英語でやり取りをする時には、相手の言ったことにならずいたり、英語で返事したりしています。	83%(35人中29人)
⑤	英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。	83%(35人中29人)

①と②の結果とその理由の聞き取りから、授業に進んで参加しているが授業で学んだことを授業以外の場面で使う機会が少なく、学んだことを活かして英語を使う意欲をもてていないことが分か

った。また、③・④・⑤の結果と教師の見取りから、やり取りをしたい気持ちはあるが英語を使っ
てのやり取りに慣れ親しんでおらず、適切な反応や会話の継続ができていないといえる。

- 指導に当たっては、常に単元のゴールとなる活動を想定し相手・目的意識をもつことができるよ
うに、単元計画を掲示する。授業の中で発表練習する際には、単元のゴールとなる活動の状況設定
を明確にして、他者に配慮しながら伝えられるようにさせる。

また、「主語+動詞+目的語」の語順に気付くよう、板書を色分けしたり、イラスト付きカードを
活用したりする工夫を取り入れる。英語の文構造を理解し、自分たちで言葉を紡ぎだすことができ
れば、自分の言いたいことや相手の表現していることがより理解できるようになり、より豊かにコ
ミュニケーションが図れるようになると考える。そしてコミュニケーションができたという喜びが
児童の意欲向上につながると考える。

さらに授業時間以外の活動として、英語を使ったやりとりへの慣れ親しみを増すために、
「English Time Card」を活用し、教職員へ「なりきりインタビュー」を行う。英語を使う機会を
増やすことで、既習の英語表現を使ったやりとりに慣れ親しみ、適切な反応や会話の継続ができる
ことを目指す。

5 単元の目標

- 【コ】他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。
- 【慣】自分や第三者について聞いたり言ったりする。
- 【慣】語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。
- 【気】「主語+動詞+目的語」の文の語順に気付く。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
①他者に配慮しながら、第 三者について伝え合おうと している。	①自分や第三者について聞いたり言っ たりしている。 ②語順を意識して、自分やある人につい て紹介している。 ③例を参考に紹介したい人物について 単語と単語の間のスペースに気をつけ て、紹介文を書いている。	①「主語+動詞+目的語」の 文の語順に気付いている。

7 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

○I am (Ken). I [like / play] [the violin / baseball]. I [have / want] a new [recorder / ball].

I eat (spaghetti). I study (math). I can [swim / cook / skate / ski / sing / dance].

I can (play baseball well). Who is this? [He / She] is [famous / great].

○famous, nut, old, 身の回りの物 (racket), jungle

【繰り返しの使用表現・語彙】

he, she, 動物, 飲食物, スポーツ, 身の回りの物, 教科, 動作, 状態・気持ち

★単元のゴール 自分の紹介したい「すごい日本人！」を紹介する「なりきりインタビュー」

A: Hi, today's guest is Mr. Oda Mikio. He is a triple jumper. He can jump long.

B: Hello, I'm Oda Mikio. Nice to meet you.

A: Do you have a medal? B: Yes, I do. I have a gold medal.

A: Great! Do you like running too? B: Yes, I do. I run by the Seno river.

A: Oh, really? By the way, what food do you like? B: I like fish.

A: Me too! Thank you very much. B: Thank you.

- 目的：日本のすごい人を外国人に紹介したい。
- 場面・状況：グローバルキャンプに来ている外国人に紹介する。(テレビ番組の形式のビデオで)

★他学年との関連

【題材】

【文構造】

3年 Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう

5年 Unit 1 Hello, everyone.
自己紹介をしよう (自己紹介)

5年 Unit 5 She can run fast. He can jump high. ぼくのわたしのできること
(できること, 動作, スポーツ, 楽器, 身の回りの物)

5年 Unit 9 Who is your hero? 私のあこがれの人 (憧れの人, 人物紹介, 動作, 様子, 職業)

6年 Unit 1 This is ME!
自分のことを伝え合おう (自己紹介)

6年 Unit 3 (本単元) He is famous. She is great. 日本や世界で活躍する日本人
(人物紹介, 動作, 様子, 職業)

中1年 Program 2 アメリカからの転校生 (be 動詞)

中1年 Program 3 ウッド先生がやってきた (一般動詞)

中1年 Program 8 Origami (できること)

中1年 My Project 1 自分のことを話そう (自己紹介)

中1年 My Project 2 人を紹介しよう (人物紹介)

中3年 My Project 7 あの人にインタビューしよう (有名人へのインタビュー番組作成)

【モジュール学習 2時間 (15分3モジュール×2)】

※①は単元の前期 (導入前でもよい), ②は単元の後期 (終了後でもよい) に実施する。

時	目標と主な活動	表現・会話例	評価規準(方法)
モジュール① (単元前期)	<p>【慣】自分や第三者について聞いたり言ったりする。</p> <p>【気】「主語+動詞+目的語」の文の語順に気付く。</p>	<p>I like (apples).</p> <p>I want (a dog).</p>	<p>【慣①】自分や第三者について聞いたり言ったりしている。</p> <p>【気①】「主語+動詞+目的語」の文の語順に気付いている。</p> <p>(行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p>
	<p>好きな食べ物や動物を伝え合おう。</p> <p>○「食べ物や動物を英語で言ってみよう。」 (p.20【Key-Word Game】apples~catsの音声使用)</p> <p>○「好きな食べ物や動物を伝え合おう。」</p>	<p>I have (a soccer ball).</p> <p>I study (English).</p> <p>・飲食物</p> <p>・動物</p>	
	<p>ほしいものや持っているものを伝え合おう。</p> <p>○「身の回りの物を英語で言ってみよう。」 (p.20【Key-Word Game】a dog~a watch 音声使用)</p> <p>○「ほしいものや持っているものを伝え合おう。」</p>	<p>・身の回りの物</p> <p>・教科</p>	
モジュール② (単元後期)	<p>【慣】自分や第三者について聞いたり言ったりする。</p> <p>【慣】語順を意識して, 自分やある人について紹介したり, 例を参考に紹介する文を書いたりする。</p>	<p>I am (Ken).</p> <p>I [like / play] [the violin / baseball].</p>	<p>【慣①】自分や第三者について聞いたり言ったりしている。</p> <p>【慣②】語順を意識して, 自分やある人について紹介している。</p> <p>【慣③】例を参考に紹介したい人物について単語と単語の間のスペースに気をつけて, 紹介文を書いている。</p> <p>(行動観察, 評価問題, ワークシート点検, 振り返りカード分析)</p>
	<p>登場人物について聞こう。</p> <p>○【Let's Watch and Think 1】映像を見て, だれのことか考え, □に番号を書こう。名前を聞いて4線に書こう。(p.19)</p>	<p>I [have / want] a new [recorder / ball].</p> <p>I eat (spaghetti).</p>	
	<p>人物紹介をしよう。</p> <p>○【Let's Watch and Think 3】映像を見て, Fishellの自己紹介の内容について考えよう。(p.23)</p> <p>○「ワークシートに絵カードを置いて, 自分や友だちを紹介しよう。(自作ワークシート)</p>	<p>I study (math).</p>	
	<p>単元力試しをしよう。</p> <p>○〔力試し Listening & Writing〕</p> <p>・人物についての聞き取り (デジタル教材 p.22【Let's Watch and Think 2】の音声を使用)</p> <p>・アルファベット小文字 (穴埋め10問)</p> <p>・自分の名前, 人物紹介 (語彙選択) を英語で書く。</p>		

【通常授業 6時間 (45分×6)】

時	目標と主な活動	表現・会話例	評価規準(方法)
1	<p>【慣】自分や第三者について聞いたり言ったりする。</p> <p>日本のすごい人について聞いたり言ったりしよう。</p> <p>○【Small Talk】先生たちの「なりきりインタビュー」</p> <p>※この単元で取組む課題を知り，単元の見通しをもつ。</p> <p>○【Let's Watch and Think 1】映像を見て，世界で活やくする日本人について知ろう。(5年 We Can! 1 Unit 1 p.2-3 を活用)</p> <p>○「いろいろな分野の『日本のすごい人』を考えよう。」</p> <p>○「出てきた『日本のすごい人』を簡単に紹介してみよう。」</p> <p>○「自分が紹介したい人を考えよう。」</p>	<p>This is Ms. Ishikawa Kasumi. She is a table tennis player. She can play table tennis very well. She is strong. ・状態・気持ち (famous, great, cool, cute, strong, smart, funny, gentle など)</p>	<p>【慣①】自分や第三者について聞いたり言ったりしている。 (行動観察，ワークシート点検，振り返りカード分析)</p>
2	<p>【慣】自分や第三者について聞いたり言ったりする。</p> <p>【気】「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付く。</p> <p>‘Who Am I?’クイズをしよう。</p> <p>○【Small Talk】‘Who Am I?’クイズ</p> <p>○【Let's Listen 1】だれのことかを聞いて，名前を表に書こう。(p.24)</p> <p>○「人物カードを見て，その人になりきって自己紹介をしてみよう。」</p> <p>○「‘Who Am I?’クイズをしよう。」</p>	<p>Who am I? I like Winnie the Pooh. I have a gold medal. I can skate very well. My nickname is Yuzu.</p>	<p>【慣①】自分や第三者について聞いたり言ったりしている。 【気①】「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付いている。 (行動観察，ワークシート点検，振り返りカード分析)</p>
3	<p>【気】「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付く。</p> <p>【慣】語順を意識して，自分やある人について紹介する。</p> <p>自分が紹介したい人物について話そう。</p> <p>○【Small Talk】先生たちがすごい！と思う日本人</p> <p>○【Let's Listen 2】だれのことかを聞いて，名前とわかったことを表に書こう。(p.24)</p> <p>○「自分が紹介したい人物について，どう伝えるかを考えよう。」</p> <p>○「グループで自分が紹介したい人物になりきって，自己紹介をしよう。」</p>	<p>Hello, I'm Nagatomo Yuto. I like soccer. I'm good at playing soccer. I live in Italy now. I love my wife and my daughter.</p>	<p>【気①】「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付いている。 【慣②】語順を意識して，自分やある人について紹介している。 (行動観察，ワークシート点検，振り返りカード分析)</p>
4	<p>【慣】語順を意識して，自分やある人について紹介したり，例を参考に紹介する文を書いたりする。</p> <p>「なりきりインタビュー」の原稿を書こう。</p> <p>○【Small Talk】クラスみんながすごいと思う日本人</p> <p>○『「なりきりインタビュー」でのやり取りの仕方を知ろう。』</p> <p>○『「なりきりインタビュー」の原稿を書こう。』</p>	<p>Today's guest is Mr. Oda Mikio. He is a triple jumper. He can jump long. I'm Oda Mikio. Do you have a medal? Yes, I do. I have a gold medal. Do you like running too?</p>	<p>【慣②】語順を意識して，自分やある人について紹介している。 【慣③】例を参考に紹介したい人物について単語と単語の間のスペースに気をつけて，紹介文を書</p>

		Yes, I do. I run by the Seno river. What food do you like? I like fish.	いている。 (行動観察, ワークシート[インタビュー原稿]点検, 振り返りカード分析)
5 本 時	【コ】他者に配慮しながら, 第三者について伝え合おうとする。 【慣】語順を意識して, 自分やある人について紹介する。	A: Hi, today's guest is Mr. Oda Mikio. He is a triple jumper. He can jump long. B: Hello, I'm Oda Mikio. Nice to meet you. A: Do you have a medal? B: Yes, I do. I have a gold medal. A: Great! Do you like running too? B: Yes, I do. I run by the Seno river. A: Oh, really? Thank you very much. B: Thank you.	【コ①】他者に配慮しながら, 第三者について伝え合おうとしている。 【慣②】語順を意識して, 自分やある人について紹介している。 (行動観察, ワークシート[インタビュー原稿]点検, 振り返りカード分析)
	「なりきりインタビュー」の練習をしよう。 ○【Small Talk】先生たちの「なりきりインタビュー」 ○『なりきりインタビュー』の練習をしよう。 ○「ペアグループで見せ合ってアドバイスし合おう。」 ○「アドバイスを生かして, もう一度練習をしよう。」		
6	【コ】他者に配慮しながら, 第三者について伝え合おうとする。 【慣】語順を意識して, 自分やある人について紹介する。	A: Hi, today's guest is Mr. Oda Mikio. He is a triple jumper. He can jump long. B: Hello, I'm Oda Mikio. Nice to meet you. A: Do you have a medal? B: Yes, I do. I have a gold medal. A: Great! Do you like running too? B: Yes, I do. I run by the Seno river. A: Oh, really? Thank you very much. B: Thank you.	【コ①】他者に配慮しながら, 第三者について伝え合おうとしている。 【慣②】語順を意識して, 自分やある人について紹介している。 (行動観察, パフォーマンス評価 [なりきりインタビュー], 振り返りカード分析)
	「なりきりインタビュー」ですごい日本人を紹介しよう。 ○「すごい日本人! なりきりインタビュー」 ○【STORY TIME】Kazuのお気に入りのラグビー選手紹介 ●単元振り返りカードの記入 ※内容面と言語面について振り返る。		

目標：【コ】他者に配慮しながら，第三者について伝え合おうとする。

【慣】語順を意識して，自分やある人について紹介する。

準備：タブレット【デジタル教材（We Can! 2）】，表現カード，ワークシート

過程	学習活動	指導上の留意事項（◇） ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価基準 [評価方法]
導 入	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。（指導者と・ペアで） ・曜日，日付，天気を言う。 <p>○【Small Talk】先生たちの「なりきりインタビュー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生たちがすごいと思う日本人になりきってインタビュー形式で紹介するのを聞き，どのような表現を使っているか，真似したいところはどこかなどを発表する。 	<p>◇はっきりとした声で，気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇日直と児童全体，児童のペアでのやり取りを行わせる。</p> <p>◇発表の態度も含めたよいモデルを示し，本時のめあてに繋げる。</p> <p>◇ゆっくりと表情やジェスチャーなどをつけて言い，イラスト等の視覚的補助を加えるなどして，日本語で説明しなくても理解できるようにする。</p>	
	<p>※【やり取りの例】</p> <p>A: Hi, today's guest is Ms. Kuroyanagi Tetsuko. She is an actress and MC. She can speak very fast.</p> <p>B: Hello, I'm Kuroyanagi Tetsuko. Nice to meet you.</p> <p>A: I like your TV program "Tetsuko-no-Heya".</p> <p>B: Thank you. I enjoy talking with guests.</p> <p>A: Great! You are the UNESCO ambassador. Do you like children?</p> <p>B: Yes, I do. I love children. I like animals, too.</p> <p>A: Oh, really? What animals do you like? B: I like pandas.</p> <p>A: Me too! Thank you very much. B: Thank you.</p> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「なりきりインタビュー」の練習をしよう。</p> </div>		
展 開	<p>○『なりきりインタビュー』の練習をしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のモデルインタビューで出てきた表現などをふり返り，自分たちが付け加えたい表現を発表する。 ・話し方などで意識したいことを発表 	<p>◇モデルで使用した表現をカードで提示したり，ワークシートから探したりして，活用できる表現を語順を意識させながら確認させる。</p> <p>◇聞き手にとって理解しやすくするためにどのような点に気を付けたり工夫</p>	

	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで工夫したいところを相談する。 ・ペアで「なりきりインタビュー」の練習を行う。 <p>○「ペアグループで見せ合ってアドバイスし合おう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア同士でグループを作り、「なりきりインタビュー」を見せ合う。 ・お互いにアドバイスをする。 ・別のペアとグループになり、同様に見せ合い、アドバイスしあう。 <p>○「アドバイスを生かして、もう一度練習をしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のペアの良かったところや工夫していたところを交流する。 ・ペアでアドバイスを生かして内容を考え、練習する。 ・もう一度最初のグループで見せ合い、最初より良かったところを伝え合う。 	<p>したりすればよいかを確認しながら、練習に取り組ませる。</p> <p>◆机間指導を行い、うまく練習を進められていないペアや、言えていない児童を支援する。</p> <p>◇話し手はできるだけメモを見ずに、聞き手を意識しながら発表できるように、聞き手は反応をしながら話しやすい雰囲気を作るようにさせる。</p> <p>◆机間指導を行い、うまく交流のできていないグループに言えていない児童を支援する。</p> <p>◇良いやり取りのできていたペアに全員の前で発表させてもよい。</p> <p>◇自分たちが紹介したい人物の良さが伝わるような表現ができるように、内容や話し方などのアドバイスを行う。</p> <p>◆難しい表現を使っているペアには、既習の表現で自分たちの思いに近いものに言えるよう、アドバイスを行う。</p>	<p>【コ①】他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとしている。</p> <p>【慣②】語順を意識して、自分やある人について紹介している。</p> <p>[行動観察, ワークシート[インタビュー原稿]点検, 振り返りカード点検]</p>
<p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わりやすいように工夫して、「なりきりインタビュー」の発表練習で、自分たちの紹介したい人物について、語順を意識しながら表現を考え、伝え合っている。 <p>A: Hi, today's guest is Mr. Oda Mikio. He is a triple jumper. He can jump long. B: Hello, I'm Oda Mikio. Nice to meet you. A: Do you have a medal? B: Yes, I do. I have a gold medal. A: Great! Do you like running too? B: Yes, I do. I run by the Seno river. A: Oh, really? Thank you very much. B: Thank you.</p>			
<p>ま と め</p>	<p>○本時の活動をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを書く。 ・振り返りを交流する。 <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇児童が相手に伝わりやすいように工夫して「なりきりインタビュー」の練習を行っていたことなどを評価し、次回はみんなの前で発表を行うことを伝える。</p>	

Today's goal 「なりきりインタビュー」の練習をしよう

Tuesday

July

10th

sunny

(絵カード)

Today's guest is Mr./Ms. ()

He

is

She

Hello.

I

am

Do you

?

I

人物の
顔写真